

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		出生数		人	80 (令和6年度)
	婚姻件数		件	40 (令和6年度)	26 (令和4年度)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.24 (令和4年度)	
	婚姻件数			26 (令和4年度)	
	婚姻率			1.96 (令和4年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加者数		40	29 (令和5年度)
	2	募集定員に対する参加者数の割合		100	72.5 (令和5年度)
	3				
	(アウトカム)				
	1	イベントに満足した参加者の割合		80	73.9 (令和5年度)
	2	参加者のうちマッチングした方の割合		60	72.4 (令和5年度)
	3				
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	特になし				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	南会津町結婚サポート企業に対し、開催通知やチラシ等を送付し、従業員の参加を促してもらう。				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

積算内訳書

1. 地方自治体名	福島県南会津町		
2. 個別事業名	婚活イベント事業		
	対象経費支出予定額:	400,000	円

3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費	交付対象事業費	
				交付対象事業費	交付対象外事業費
1		町主催による婚活イベント（事前セミナー、イベント）			
2	諸謝金	イベント司会者謝金（日帰り）55,000円×1回 イベント司会者謝金（1泊2日）99,000円×1回	154,000	154,000	
3	旅費	イベント司会者旅費10,500円×2回	21,000	21,000	
4	需用費	イベントチラシ用紙代等	30,000	30,000	
5	委託料	チラシデザイン料（A4片面）	70,000	70,000	
6	使用料及び賃借料	会場使用料（日帰り）50,000円 会場使用料（1泊2日）150,000円	200,000	125,000	75,000
7		※飲食費や体験料等の参加者に還元する費用（補助対象外）については参加費を徴収し充当する（当計画には含			
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
計			475,000	400,000	75,000

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	154,000	0	0	21,000	30,000	0
交付対象事業費	154,000	0	0	21,000	30,000	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	70,000	200,000	0	0	0	475,000
交付対象事業費	70,000	125,000	0	0	0	400,000

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

番号	セミナー・イベント名称	所要額(X)※	参加予定人数(Y)	(参考)過去の同セミナー・イベントの人数	一人当たりコスト(X÷Y)
1	婚活イベント(日帰り)	180,000	20	16	9,000
2	婚活イベント2回目(1泊2日)	220,000	20	13	11,000
3					0

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。

地域少子化対策重点推進交付金(国令和5年度補正予算分) 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	南会津町	(都道府県: 福島県)
本事業の担当部局名	総合政策課	

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	重点メニュー				
関連事業メニュー	1.2.5 若い世代向けの総合的なライフデザインセミナー				
個別事業名	ライフデザインセミナー事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規		
実施期間	令和6年4月1日	~	令和7年3月31日	事業開始年度	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	250,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通</p> <p>少子化対策については、南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標2『子どもを産み育てたいと思える環境をつくる』において、結婚から子育てまでの切れ目のないきめ細やかな支援を行うとともに、多様化するニーズに応じた子育て支援の充実を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めることとしている。しかしながら、令和4年度の婚姻件数は26件、出生数39人と目標値を大きく下回っており、特に婚姻件数の減少が大きな課題である。</p>				
	<p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け)</p> <p><当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通</p> <p>これまで子どもを産み育てやすい環境づくりを進めており、妊娠期から幼児期以降まで幅広く事業を展開出来ている。今後は、減少した婚姻件数を増やすために、結婚を希望する男女が結婚できる環境が必要である。当年度においては、独身男女を対象にしたイベントやライフデザインセミナー(異業種交流)による男女の出会いの機会創出、縁結びサポーター制度による伴走型支援で男女の結婚を応援していく。</p> <p><本個別事業の位置付け></p> <p>将来の様々なライフイベントに柔軟に対応できるように、必要な知識や情報を総合的に習得してもらい、結婚への意識をもってもらうため、ライフデザインセミナーを開催する。</p> <p>南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標2『子どもを産み育てたいと思える環境をつくる』では、①地域全体で結婚を応援する環境の整備 ②安心して出産できる環境の整備の取組を行うこととしており、本事業については、上記取組の①に位置付けられる。</p>				
	<p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))</p>				
	<p>(ステップアップ)</p>				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	ライフデザインセミナーの開催	<p>新たに町単独で、将来の様々なライフイベントに対する知識や情報を総合的に習得してもらうためライフデザインセミナーを開催する。</p> <p>開催にあたっては、人生設計のワークシート用いて、講師の説明を聞きながら、参加者自ら考えながらライフデザインを描く要素を取り入れて実施する。また、実施後は、アンケート結果をまとめた資料を町広報や町ホームページに掲載することで、地域において事例を共有する。</p> <p>【参加目標人数】独身男女30名×2回=60名 【時間】90分</p>		○
	2				
	3				
<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>令和6年度に実施したセミナーの成果や、参加者アンケートに基づき、効果検証し、より効果的な実施方法について検討する。</p>					
<p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>特になし</p>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	出生数		人	80 (令和6年度)	39 (令和4年度)
婚姻件数		件	40 (令和6年度)	26 (令和4年度)	
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.24 (令和4年度)	
	婚姻件数		件	26 (令和4年度)	
	婚姻率			1.96 (令和4年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加者数		60	-
	2	募集定員に対する参加者数の割合		100	-
	3				
		(アウトカム)			
	1	結婚、子育て、ワークライフバランス等、性別にかかわらず必要な知識や情報を総合的に習得でき、将来の様々なライフイベントに柔軟に対応できる自信がついた参加者の割合		80	-
	2	人生設計について考えるきっかけとなった参加者の割合		100	
	3				
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	特になし				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	南会津町結婚サポート企業に対し、開催通知やチラシ等を送付し、従業員の参加を促してもらう。				

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。
- ①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題
 ②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け
 ③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。
 ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
 ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
 ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
 ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

積算内訳書

1. 地方自治体名	福島県南会津町		
2. 個別事業名	ライフデザインセミナー事業		
	対象経費支出予定額:	250,000	円

3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費	交付対象事業費	
				交付対象事業費	交付対象外事業費
1	諸謝金	ライフデザインセミナー講師謝金110,000円×2回	220,000	220,000	
2	旅費	ライフデザインセミナー講師旅費 2回	30,000	30,000	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
計			250,000	250,000	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	220,000	0	0	30,000	0	0
交付対象事業費	220,000	0	0	30,000	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	0	0	0	0	0	250,000
交付対象事業費	0	0	0	0	0	250,000

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

番号	セミナー・イベント名称	所要額(X)※	参加予定人数(Y)	(参考)過去の同セミナー・イベントの人数	一人当たりコスト(X÷Y)
1	ライフデザインセミナー1回目	125,000	30		4,167
2	ライフデザインセミナー1回目	125,000	30		4,167
3					0

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。